



研修医が続々と学会表彰を受けています!

本院研修医は、本院診療科および協力型臨床研修病院・施設の先生方のご厚意により、学会・研究会での発表機会を毎年60～80回もいただいております(1研修医あたり平均2～3回、多い研修医で7～8回という強者もいます!)。そのような中、全国学会あるいは地方会の研修医セッションで表彰を受ける研修医も増えてきました。今回は、表彰を受けた4名の研修医の学会、演題名や受賞コメントを掲載致します。

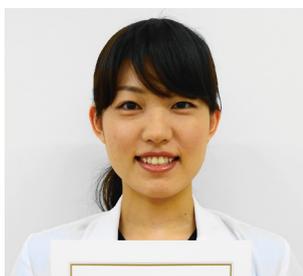
また、研修医と鮫島病院長をご訪問した際、病院長のご発案で、研修医表彰を掲示するスペースも病院内に新設していただきました(写真参照)。

いつも研修医の学会発表のご指導をいただいている先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(小松)



学会優秀演題等で表彰を受けた研修医のみなさん

①受賞名 ②学会名 ③学会日 ④演題 ⑤受賞コメント



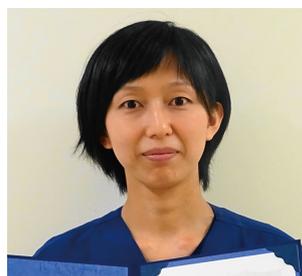
2年次 石崎 友梨
(指導診療科名：内科)

- ① 研修医発表優秀演題奨励賞
- ② 第102回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会
- ③ 平成28年11月25日
- ④ 消化管出血を契機に診断された遺伝性出血性毛細血管拡張症の1例
- ⑤ この度、学会発表研修医部門で優秀演題奨励賞をいただくことができました。この受賞は、初期研修先に大学病院を選んだからこそ得られたことだと実感しています。学会発表を数多くされてきた沢山の先生方の丁寧なご指導を受けられ、多くのことを学ばせていただきました。その証として研修医時代に受賞できたことは、後の臨床研修の励みになっています。この経験を誇りに思い、今後も医師としてなお一層の努力を重ねていく所存です。



2年次 木村 賢俊
(指導診療科名：内科)

- ① 初期研修医奨励賞
- ② 第315回日本内科学会九州地方会
- ③ 平成28年11月20日
- ④ 長期間の画像変化を捉えられたウエステルマン肺吸虫症の2例
- ⑤ 私は日本内科学会九州地方会で、ウエステルマン肺吸虫症についての演題で初期研修医奨励賞を頂きました。緊張も相まって拙い発表となりましたが、指導医の先生方のご指導のおかげで表彰を受けることができました。表彰の有無に関わらず、大きな会場で発表の機会を設けて頂いた先生方には本当に感謝しています。ぜひ今後も多く学会を経験させて頂きたいです。



2年次 島津 志帆子
(指導診療科名：内科)

- ① 症例発表優秀賞
- ② 第6回臨床高血圧フォーラム
- ③ 平成29年5月13日
- ④ 生体腎移植後に低カリウム血症が著明となり診断に至った高レニン血症を伴う左副腎腺腫による原発性アルドステロン症の1例
- ⑤ この度は貴重な症例を担当でき、尚且つ学会に参加し様々な発表やご意見を聞く機会も頂けてとても貴重な経験ができました。北村教授、北先生をはじめご指導下さいました先生方には心より感謝申し上げます。これからも日々精進してまいります。



1年次 松川 卓弘
(指導診療科名：外科)

- ① 食道部門最優秀賞
- ② 第50回日本胸部外科学会九州地方会総会
- ③ 平成29年7月28日
- ④ 下咽頭癌術後食道癌症例の経裂孔的食道切除・遊離空腸胃管再建
- ⑤ 学会発表は今回が初めてでしたので演題登録やプレゼンテーションの方法などわからないことだらけでしたが、発表をもちかけてくれた武野慎祐先生を始めと致します外科学講座の先生方のご指導によって食道部門最優秀賞という身に余るほどの結果とともに学会発表を無事終えることが出来ました。この場をお借りしましてご助力頂いた先生方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



海外医療体験研修報告

2年次研修医 内田 泰介

皆さんこんにちは。私はタイ王国にあるPrince of Songkla UniversityのDepartment of Family Medicineで3週間研修させていただきました。ほとんど海外に行った経験のない私でしたが、片言の英語と身振り手振りでなんとか意思疎通できました。Heartで伝えるということの重要性を学ぶことができ、宮崎大学に戻ってから同僚や上司、そして患者さん相手でのコミュニケーションにも活かすことができている。このような機会を与えてくださったすべての人々に感謝申し上げます。



見学を訪れたKHLONG HOI KHONG HOSPITAL



Family Medicineの皆さん&帯同の坪内先生と



Family Medicineでは子供から高齢者まであらゆる病気の診察を行っていました



休日に現地の研修医に連れられ、観光へ

第5回そつごのそつご〜おしもの泌尿器科〜

宮崎大学 医学部医学科 泌尿器科 上別府 豊治先生(H18年度修了)

泌尿器科の上別府です！小林市出身、山口大学卒業後、当院で臨床研修を行い泌尿器科に入局して現在に至ります。1学年上の世代から臨床研修制度が始まりましたので、過渡期に各科をローテートしました。研修同期の仲間や、泌尿器科をはじめ各科の先輩方・後輩達に恵まれ、現在院内外で気軽に相談ができ、困ったときに助けてもらえるときは、こうして宮崎大学に卒業後すぐ帰ってきてよかったと思える瞬間の一つです！

一般の方に、何科のお医者さん？と聞かれて、「泌尿器科です」と答えると、言葉にはされませんが、「ああ、しものほうね」といった、雰囲気は漂います。あるいは、感じるだけかもしれません。そんな、しもの泌尿器科(病棟は最上階ですが)を専攻した理由は、医局の先生方の和気あいあいとした雰囲気と、内視鏡や体腔鏡の手術に興味

を持ったこと、そしてやはり「しも」に興味があったからです。泌尿器科医になって、何度も大変なこともありましたが、苦しいこともありましたが、選んだことを後悔したことはありません。それは、やはり興味を持てる分野だからだと思います。特に、当科では3D腹腔鏡システムを全ての体腔鏡手術で使用しており、そのメリットは大きいと思います。少しでも興味がある方は是非、体感してみたいと声をかけてください！

研修医の皆さん、苦しいこと辛いこと時には理不尽なこともあると思いますが、「ここなら多少苦しくても前を向いて頑張れる分野」を是非見つけてください。そして、楽しみながらこれからの長い医師人生を歩んでいきましょう！手前みそですが僕は今、家族(子供4人)にも恵まれ本当に幸せな毎日です。宮崎は、働くにも子育てをするにもスポーツをするにも素晴らしい環境が整っています！是非、皆さんに宮崎での入局を選択していただき、更に、泌尿器科を選択していただければこの上ない幸せです。宮崎の未来は明るい！自分の可能性を信じて突き進んでください！



平成30年度より新専門医制度開始!



ついに、来年度より新専門医制度が開始します。
10月より各希望専門領域プログラムへの一次登録が開始され、12月には採用試験が実施されます。宮崎大学の18専門プログラムは、県内62施設と”All Miyazaki”体制で連携し、大学病院と連携施設の有機的循環で手厚い指導体制と豊富な経験症例が確保され、臨床・基礎研究のスタートアップにも最適です。

現在、宮崎大学医学部のホームページにて本院18専門プログラムの概要および採用試験実施日等を公開しておりますので、ぜひご確認下さい。
(小松)

29年10月現在

プログラム申請～採用決定までの流れ

- 1 一次登録(10月10日～11月15日)
- 2 採用確認期間(11月16日～11月30日)
- 3 採用期間(12月1日～12月14日)
- 4 結果通知(12月15日)
- 5 採用未決定者は二次登録へ(12月16日～)

領域	プログラム名	募集定員(人)
内科	内科専門医育成プログラム	25
小児科	小児科専門研修プログラム	7
皮膚科	皮膚科研修プログラム	6
精神科	精神科領域専門研修プログラム	18
外科	外科専門研修プログラム	12
整形外科	整形外科専門研修プログラム	6
産婦人科	産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム	6
眼科	眼科専門研修プログラム	3
耳鼻咽喉科	Miyazaki Ear-Nose Throat Oriented Residency (MENTOR) Program	4
泌尿器科	泌尿器科専門研修プログラム	5
脳神経外科	臨床神経科学講座脳神経外科分野プログラム	5
放射線科	放射線科専門研修プログラム	4
麻酔科	麻酔科専門医研修プログラム	9
病理科	病理専門研修プログラム	2
臨床検査	臨床検査専門研修プログラム	1
救急科	救命救急センター救急科専門研修施設群救急科研修プログラム	7
リハビリテーション	リハビリテーション科専門研修プログラム	2
総合診療	地域医療・総合診療医学講座 総合診療専門医プログラム	4

内科学はじめの一步

内科学はじめの一步は、毎月第4月曜日の19時から開催される勉強会です。平成28年4月から開始して、気がつけば1年半が経過しました。腹部や下肢静脈エコーのハンズオンセミナーや神経診察実習などの実技と、研修医の先生に知ってほしい内科知識の講義を行っています。卒後センターの内科教員と医療人育成支援センターの中島先生と安倍先生の他、内科の各9診療科にご協力いただきながら開催しています。研修医の先生以外にも

学生さんや若手の先生の参加も歓迎していますので、お気軽にお立ち寄りください!
(坪内)



2年次研修医面談

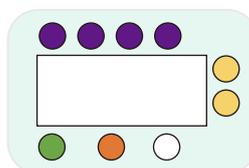
9月4日(月)・5日(火)の両日、2年次研修医の面談を行いました。宮崎大学卒後臨床研修センターでは研修医面談を年1回行っており、例年、2年次研修医は9月、1年次研修医は12月に行っております。

1人の卒後センター教員は各学年4～5名の研修医のアドバイザーとなっております(ですので、2学年で8～10名を担当します)ので、研修医(4～5名)、そのアドバイザー卒後教員、卒後センター長、副センター長、事務(2名)が面談を行います。

2年次研修医は、そろそろ2年間の研修のまとめの時期に入ります。レポート提出が必要なA疾患、20症状、外科症例、剖検症例、および、経験が必要なB疾患、救急疾患など、順調に経験を積んで行っているかを、面談でチェッ

クします。また、夏休みの取得状況、それぞれ悩みはないか、初期研修を行っている中で要望はないか等のヒアリングも行います。また、今回は10月から登録開始予定の新専門医制度の説明(注:本通信発行時点では正式に開始が決定されました)も行いました。

今年の2年次研修医の皆さんは、現時点で順調に研修が行えておりました。引き続き、頑張ってくださいと思います。
(中島)



- 研修医
- センター教員(アドバイザー)
- センター長
- 副センター長
- 事務

研修医マッチング結果

平成30年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が行われ、医師は10月19日(木)、歯科医師は10月24日(火)にマッチング結果が発表されました。

【医師】	
自主デザイン研修プログラム	32名
小児科研修重点プログラム	1名
産婦人科/周産期研修重点プログラム	0名
計33名	
【歯科医師】	
歯科臨床研修プログラム	5名

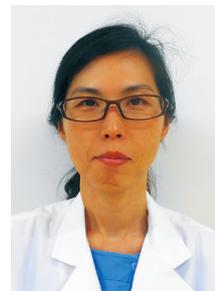
センター教員の紹介

平成29年10月より卒後臨床研修センターのスタッフとなりました山下理絵です。宮崎県出身です。

産婦人科に入局し十数年?になり、主に総合周産期母子医療センターで活動しています。

産科・婦人科 山下 理絵 先生

女医としてそれなりに色々、経験しています。困った時、つらい時、そうでなくてもいつでも気軽に声をかけてください。研修医の皆さんのサポートができるよう頑張りたいと思います。
どうぞよろしくをお願いします。



行事案内 (11月~4月)

11月	25日(土)	平成30年度研修ローテーション等説明会
12月	16日(土)・17日(日)	平成29年度「指導医のための教育ワークショップ」(宮崎市)
	18日(月)・19日(火)	1年次研修医(医科)グループ面談
1月	27日(土)	基本的臨床能力評価試験
2月	3日(土)・4日(日)	第111回歯科医師国家試験
	10日(土)・11日(日)	第112回医師国家試験
3月	上旬	医師研修管理委員会(修了判定)
	19日(月)	医師・歯科医師国家試験合格発表
	下旬	修了式
4月	2日(月)~	平成30年度研修医オリエンテーション

なんでも 掲示板



「なんでも掲示板」原稿募集!

宮崎都市伝説、失敗リカバリ談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先:

宮崎大学医学部 学生支援課 卒後臨床研修係 内線2385/2386
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864/FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

